



家庭・地域から信頼される、魅力ある学校づくり

～地域へ開かれた学習で、社会へ繋がる 生きる力の育成～



関係法規

- ・憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・教育公務員特例法
- ・地方公務員法
- ・障害者基本法
- ・学習指導要領

学校教育目標

児童生徒一人一人の能力や個性を尊重し、明るくたくましく生きる人間を育成する。

- 1 健康で心豊かな人間の育成に努める。
- 2 基本的な生活習慣の確立を図る。
- 3 集団生活に進んで参加できる態度を養う。
- 4 日常生活や社会生活に必要な知識と技能を養う。
- 5 興味・関心を育て、自ら楽しむ意欲を養う。



<小学部>

- 1 明るく元気な児童
- 2 できることは自分でする児童
- 3 みんなと仲良くできる児童
- 4 きまりや約束を守る児童
- 5 好きなことを自分で選ぶ児童

<中学部>

- 1 健康で心豊かな生徒
- 2 自分のことは自分でできる生徒
- 3 友達を誘って仲良くできる生徒
- 4 やり方を覚えて活動できる生徒
- 5 好きなことを見つけて進んで楽しめる生徒

<高等部>

- 1 健康で心豊かな生徒
- 2 日常生活習慣を身につけた生徒
- 3 きまりを守り、みんなと協力できる生徒
- 4 何事も進んでい、社会人として自立を目指す生徒
- 5 興味をもち、余暇を楽しむことができる生徒

めざす学校像

小中高12年間の一貫した、きめ細かくていねいな教育をとおして、
一人一人が社会へ羽ばたく能力・資質を高めていくことのできる、魅力ある学校

- 1 児童生徒の願いや思いを教師が受け止め、個の実態に応じて児童生徒が生き生きと主体的に学ぶことができる学校
- 2 小・中・高12年間の一貫した教育で、一人一人の社会自立に向けた、個性や能力を調和的に高めていける学校
- 3 保護者・地域から信頼され、安心安全に学ぶ事ができる、高い専門性に支えられた社会へ開かれた学校
- 4 ユネスコスクールへ向けて、ESDを意識した特別支援教育の実践をすすめる学校

めざす教師像

チームとして、思いやりにあふれ、風通しの良い働きやすい職場
相手を思い、声を掛け合いながら、お互い様で動ける仲間

- ・ 専門性を高め、児童生徒に還元できる学びあい
- ・ 聞く耳を持ち、励ます言葉があり、助ける手の届く職員室
- ・ 服務規律の確保を意識し、教育公務員としての自覚の高い教職員
- ・ 精神的に安定し、健康な心身をもって職務にあたる教職員



県の施策

- ・ 第4期群馬県教育振興基本計画(教育ビジョン)
- ・ 群馬県教育委員会運営方針
- ・ 第4期群馬県特別支援教育推進計画
- ・ 学校教育の指針
- ・ 指導の重点
- ・ 第2次人権教育・啓発の推進に関する群馬県基本計画
- ・ 群馬バリアフリープラン

安全	笑顔	意欲
<ul style="list-style-type: none"> ○ 安心して過ごせる学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設管理の徹底 ・ 危機対応マニュアルの充実 ・ 安心な給食の提供 ・ スクールバスの安全な運行 ・ 避難訓練等、有効な訓練の実施 ・ 病状等に応じた、柔軟な保健対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○ つながりを意識した活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の共有化を促進 ・ 相手の立場を尊重する ・ 発信をあきらめない ・ 「みんな」「チーム」を大切にする ・ 健康な心身で仕事に臨む 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒が中心にある学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ こどもの将来に責任のもてる教育 ・ 12年間を見通した教育課程 ・ 専門性を高める研修 ・ 3学部の繋がり強化 ・ ICTを活用した学習の充実 ・ 強度行動障害研究への参加
地域へ開かれた学校・地域と共にある学校 <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の社会自立へ向けた教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 他校、居住地、地域との交流活動 ・ 地域の幼児や小中学校へのセンター的役割 ・ 小・中・高と発展的な教育課程の実施 		教職員の多忙化解消 <ul style="list-style-type: none"> ○ 心身共に健康で子ども達と向き合える環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存にとらわれない改革の促進 ・ 新しいことの前、何を手放すかを考える ・ 変えるときは、共通理解をもって促進する